

2026年2月27日

三芳町での冷凍自動倉庫開発を目的とした ノンリコース形式「グリーンローン」の取組みについて ～「TSUBASAアライアンス」連携施策～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2026年2月27日（金）、霞ヶ関キャピタル株式会社（代表取締役 河本 幸士郎、東京都千代田区）がマネジメント業務を受託する入間郡三芳町での冷凍自動倉庫開発を目的とした「合同会社LOGI FLAG 13号」に対し、TSUBASAアライアンス^{注1}参加行との協調によるノンリコース形式「グリーンローン」の取組みを行いましたので、お知らせします。

霞ヶ関キャピタル株式会社は「その課題を、価値へ。」の経営理念のもと、物流施設・ホテル・ヘルスケア施設を中心とした不動産コンサルティング業を営んでいる東証プライム市場上場企業です。同社は、事業活動を通じ持続可能な社会の実現に貢献するため積極的な取組みを展開しており、特に近年では環境性能の高い物流施設「LOGI FLAG」の開発に注力しています。

同社が三芳町にて開発する冷凍自動倉庫では、自動ラックにより入出庫自動化を実現し、労働力不足や就労環境改善といった課題の解決に繋がることが期待されております。あわせて、2030年のフロン規制を見据え自然冷媒を用いた冷却機を採用するとともに、屋上に太陽光発電パネルを敷設するなど環境にも十分配慮した物流施設となる予定です。

当行ではかねてより、持続可能な地域経済・社会の実現や脱炭素・気候変動といった課題の解決に向けたサステナブルファイナンスの充実に努めており、今般のノンリコース型「グリーンローン」はこの一環となるものです。

なお、本件は、霞ヶ関キャピタル株式会社が2022年に策定し、株式会社格付投資情報センターよりグリーンローン原則^{注2}の適合性評価を受けた「グリーンローンフレームワーク」^{注3}に従ったものであることを確認しております。

注1 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。

注2 グリーンローン原則は、グリーンローン借入に関する自主的ガイドラインとして、商品の開発と誠実性向上を視野に入れ策定された融資原則です。グリーンローンとは企業等が国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資のことをいいます。

注3 https://www.r-i.co.jp/news_release_gf/2022/09/news_release_gf_20220927_jpn.pdf をご参照ください。

《グリーンローンの概要》

借入人	合同会社LOGI FLAG 13号
物件名称	LOGI FLAG TECH 三芳Ⅱ
物件所在地	埼玉県入間郡三芳町
竣工予定	2029年1月
シニア貸付人	群馬銀行、滋賀銀行、第四北越銀行、千葉銀行、東邦銀行（50音順）
消費税ローンおよびジュニア貸付人	武蔵野銀行
メザニン貸付人	三菱HCキャピタルリアルティ株式会社

報道機関からのお問い合わせ先
法人コンサルティング部 法人営業グループ 梅澤 直也
TEL (048) 641 - 6111 (代)

以上